

白神十二湖に春の訪れ

4月16日、まだ弘前には桜の開花宣言も出されていない中、深浦町で「白神十二湖 山開き 安全祈願祭」が開催されました。

これは、白神山地や津軽国定公園など、深浦町の観光事業の発展と観光客の無事故・無災害を願い、安全祈願祭、山開き式典、テープカット、青池への散策などを行い、観光シーズンのスタートをPR・発信するものです。

津軽森林管理署と、津軽白神森林生態系保全センターが招待され、慣れない儀礼や照れくさいテープカットなどを行った後、バスに乗り込み、青池を散策させていただきました。

かつて、白神岳には登ったことがありましたが、十二湖を散策したことは無く、人気スポットという青池も初めて知り、その透明度やアクセスの容易さに人気の理由があるのだと思いました。

周辺は、「深浦町白神十二湖森林セラピー基地」として多くの散策路が設定されており、それぞれに応じたりフレッシュなどが可能となっております。新緑の季節にも訪れてみたいです。

帰り道、深浦町で昼食をとったのですが、この地にもインバウンドの波が押し寄せており、小さな食堂に8名の外国人が来店し、日本語のメニューに苦労しているようでした。町では外国人向けの案内表示やPRの方法も検討しているようですが、飲食店なども細かな配慮が必要なようです。

国有林の案内表示は十分なのか、確認していきたいと思います。



津軽森林管理署長 山田亨